

活用するスマート農業技術

栽培管理システム

新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用

水稲において、栽培管理システムから得られたデータ（地力、生育状況など）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

## <申請者>

農事組合法人 ビーンズ本楯（山形県酒田市）

経営概況（2026年2月時点）

経営規模：水稲66ha、大豆15ha、啓翁桜1ha、  
シャインマスカット9a

従業員数：8名

## <対象品目>

水稲

## <計画の実施期間>

5年間

## <活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

## <生産方式革新事業活動のイメージ 等>



ビーンズ本楯の皆様



栽培管理システム  
(ガルビオフィールドマネージャー)

## ～認定を受けて一言～

スマート農業技術の導入により省力化と生産性向上を図ります。生産データを農業者らと共有・活用し地域農業の中核的担い手として、安定した農業経営の確立と地域の維持・発展に貢献します。